令和４年度　あいさんハウス・ぎふ　事業報告

【令和４年度重点目標】

・ 利用者の意思決定支援の充実
  利用者主体の支援と個性と人権を尊重する支援の徹底
・ 職員育成と支援の質の向上
  障害児者支援、介護技術習得、虐待防止対策等、施設内研修の強化
  施設外研修（リモート研修の活用）
・ 地域での身近な福祉拠点を目指す
  地域、企業等との障害者の自立に向けた連携の強化
  地域で暮らす、働く等、社会参加に繋がる広報活動の実践

【事業報告】

・ 利用者主体のサービス提供を実施するため、各事業所がモニタリングに注力し、利用者の価値観や生き方を尊重した計画を立案し実行できました。
・ 職員の能力や適性によって組織体制の見直しを行い、風通しがよく、安心して働きやすい職場環境づくりに努めました。
・ サービス管理責任者講習や介護福祉士試験の受験などに複数職員が挑戦し、複数の職員が新たに資格取得をしました。
・ 地域の防災拠点として合同の避難訓練等を実施しました。また、地域のマルシェや研修会に参加し、地域との繋がりを強めました。

【各事業所報告】

1. 共同生活援助（グループホーム）
   ① 安全な暮らしと生活の質の向上
   利用者の生活の充実に繋がる提案と実践をしました。ヒヤリハット、事故等に対して迅速な対応を心掛けましたが、ケガにつながる重大事故が発生するなどの課題が残りました。
   ② 利用者の生活スタイルを尊重し自立と社会性のバランスを踏まえた支援の実践
   利用者一人ひとりが暮らしの中で小さな挑戦ができ、前向きに生活できるよう支援し、将来を見据えた生活スタイルが確立できるよう努めました。
   ③ 地域の福祉、防災拠点
   地域の防災訓練に参加しました。非常災害時対策マニュアルを見直し、委員会活動を通じて職員に周知しました。

2. 生活介護

① 安全かつ信頼のおけるサービスの質の向上

適切な支援環境を設定し、活動の幅を広げました。社会情勢により、懇談、家族連絡会を実施することができませんでしたが、日々の連絡や情報発信を充実させ信頼のおけるサービスの維持に努めました。

② 一人ひとりの活動を大切にする

個別課題活動、集団活動、体力作りを積極的に行い、身体機能維持・向上に取り組みました。

③ 生産活動の充実

生産活動の機会を提供し、働く意欲と生活の充実に繋がりました。

3. 就労継続支援Ｂ型

① 日中活動

「聞く、伝える、説明する力」を訓練し、生活力の向上に繋がりました。

② 就労支援

利用者の作業能力を引き出し、作業を通して、働く意欲及び社会の一員としての自覚と自信に繋げられる支援を実施しました。

下請作業では、納期・精度を意識し、利用者が主体的に作業できました。

施設外就労では、企業で働く経験を通して社会参加、技術習得に繋がりました。

③ 平均工賃月額 15,000 円以上の達成

工賃規程、利用者評価表を見直し、平均工賃月額 15,000 円以上を達成しました。

4. 就労移行支援

① 訓練企業実習先の確保と実践

様々な業種の企業理解を広げ、一般就職を目指し挑戦できる場を提供しました。

感染症の影響で実習先が受け入れ休止になる期間があり、計画通り企業実習ができない状況がありました。

② 生活支援の充実

体力、精神面を鍛え、働く意欲の向上に繋がりました。

③ 一般就職に向けた個別プログラムの設定

個々の特性を活かし一般就職に即した訓練及び企業実習を行いました。

5. 児童発達支援・放課後等デイサービス

① 専門職配置による個別支援の充実

児童の個々の発達段階に合わせた個別支援を実施しました。

② 将来につながるカリキュラム（活動）の設定

個別療育、作業実習を積み重ね、将来につながる学びと実践活動を行いました。

③ 高い専門性と豊かな人間性を兼ね備えた職員の育成

積極的に施設内外での研修と実践を重ね、専門職の育成に努めました。